

地域住民のご意見とその対応—新たに(案)に追記・修正したもの

No	分野	項目	主な意見	意見者					意見	回答案	【案】への反映方針	
				意見箱	インターネット	オープンハウス	説明会	FAX			新たに追記・修正した頁	既に反映済の頁
1	治水	備整備所方法・整	具体的な整備方法を教えてほしい		○				平成10年9月洪水時の江尻の状況写真が添付されていますが、堤防の整備、河道掘削の対象範囲には江尻付近は含まれていません。平成10年9月の江尻地区の被害の再発防止はどのような方法で行われるのでしょうか。	平成10年9月洪水時の江尻の写真は、小矢部川本川の洪水が直接影響しているものではないと考えられますが、同様の被害が生じる危険性のあるときには、必要に応じて排水ポンプ車の派遣等を行います。原案に追記します。	P56	—
2			耐震対策の表現方法		○				耐震性能の照査等を行いよりも、耐震性能の調査等を行いの方が国民に理解しやすいと思います。	ご指摘の通り、表現を修正しました。	P48	—
3		水防情報の提供、取組	ソフト対策についても充実を図っていただきたい		○				「リードタイム」の記述がありますが、一般の人には分かりにくいのでは。長くと日本語の「避難勧告等の発令、情報伝達及び避難に要する時間」ではダメですか？	ご指摘のとおり、表現を修正しました。	P57	—
4			水防活動の充実を図ることが必要	○				施設整備、災害時の対応の強化は計画的に粛々と進めていく必要があります。その中で、近年の想定外の極地的な豪雨が頻発する中、警戒避難体制の充実が必要だと思います。具体には災害時及び災害後に出動する地元の企業(協定団体を通じて)との連携強化が重要であると思います。災害時に現場で実働部隊として活動するのは地元企業です。このため、平時から地元企業との情報交換を行い緊急時における出動する企業の体制(役割分担は協定団体毎)の整備が急務であると思います。また、災害時には市町村、県からも出動要請が掛かるため、行政と企業の役割を含めた防災体制の整備の検討が必要であると思います。水防活動は行政と水防団、住民だけではなく地元企業の役割も含めた体制の整備が必要です。	頂いたご意見を反映します。	P56	—	
5				○				水防団員の育成や年々減少傾向にあると思うので、増員の仕組づくりを取組にすればよいと思う。	水防工法研修等を通じ、水防団員の育成に努めて参ります。			
6		維持管理	維持管理をしっかり行っていただきたい	○					ごみの投棄等の状況で、大雨による増水後に、所々で大量の漂着ゴミ等を見かけるが、その時に、小矢部川全体で漂着ゴミ等の処理・回収作業を行ってほしい。(六渡時海岸の漂着ゴミ問題も軽減される。)また、夏期等に支流等の草刈りが行われるが、刈り取った草は、そのまま増水時に小矢部川へ流出している。	ご意見については、小矢部川水系河川整備計画(案)「第5章第2節第3項5河川空間の適正な利用の促進」に記載しています。また、「第5章第2節第1項3 7) 流木等の処理」にも追記しました。	P55	P62
7						○		右岸の湾曲部(恐らく津沢大橋～合口橋の付近)は洪水になれば危険なところだと思う。川の清掃を行ったところ、湾曲部にかなりゴミが溜まっていた。	ご意見については、小矢部川水系河川整備計画(案)「第5章第2節第3項5河川空間の適正な利用の促進」に記載しています。また、「第5章第2節第1項3 7) 流木等の処理」にも追記しました。	P55	P62	
8						○		国吉大橋付近で河道断面が不足していることになっているが、どのくらい不足しているのか。	基本方針規模の流量に対して不足しています。分かりやすくするため、小矢部川水系河川整備計画(案)「第3章第1節洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する現状と課題」の表現を修正しました。	P19	—	
9						○		H20年7月洪水でもそうだったが、支川合流点にある樋門を閉めると農地が水に浸かる。逆流防止は分かるが、樋門を閉めたときに支川があふれて農地が水に浸かるのはどうにかならないか。	樋門の操作については、小矢部川水系河川整備計画(案)第5章第2節第1項3 6)に記載しています。また、排水ポンプ車については、小矢部川水系河川整備計画(案)第5章第2節第1項4 2)に追記します。	P55、P56	—	
10			強堤化防	地震による液状化対策を行ってほしい	○				津波に対する想定や安全への取組があればよいと思います。	ご指摘を踏まえて修正します。	P48	—
11	環境	利活用・景観	堤防除草、不法投棄対策を充実し、景観を維持してほしい		○			六渡寺海岸へのゴミ漂着量は凄まじく、そのゴミの大半が小矢部川上流からのものであることを現場見学で知りました。河川整備にあわせてなんとかならないのでしょうか。	ご意見については、小矢部川水系河川整備計画(案)「第5章第2節第3項5河川空間の適正な利用の促進」に記載しています。また、「第5章第2節第1項3 7) 流木等の処理」にも追記します。	P55	P62	
12					○			私の住む地域では、何でも(生き物の死骸、畦草の草)川に捨てる風習が未だに残っており、これを改める必要があります。国としても、河川環境の保全活動に力を入れて載きたいと思っています。				
13	環自然	小矢部川に生息する生物を保全してほしい	○				「急激な断面変化を避け…」について、魚などにとっては、そういうかくれ家的な箇所もあった方がよいのでは？	頂いたご意見を踏まえて、表現を修正します。	P49	—		
14	全般	構資成料	その他		○			「北陸新幹線(平成26年度開業予定)」とありますが、年月日が決定していませんので、「北陸新幹線(平成27年3月開業予定)」にはいかがでしょうか。	頂いたご意見を反映します。	P14	—	